

# 学食の運営再開に向けたアンケート調査

秋田高校同窓会  
郷土創生委員会

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、秋田高校の学生食堂の運営再開に向け、生徒と教職員の昼食のとり方、また、保護者も含め学食への希望を把握するために実施したものである。

### 2 調査方法

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| (1) 調査対象 | 秋田高校の在学生、その保護者、教職員 |
| (2) 調査時期 | 平成 29 年 7 月        |
| (3) 調査方法 | 無記名アンケート方式         |
| (4) 回答者数 | 1,109 人            |

## II 回答者の属性について

### 1 生徒、教職員、保護者別

	(%)	(人)
全体	100.0	1,109
生徒	60.7	673
教職員	3.2	36
保護者	36.1	400

### 2 学年別（生徒、保護者）

(単位：%)

	男性	女性	無回答	合計
生徒	51.9	47.3	0.9	100.0
教職員	75.0	25.0	0.0	100.0
保護者	49.3	50.3	0.5	100.0

(注) 保護者は、子どもの学年として回答

### 3 性別

(単位：%)

	1年	2年	3年	合計
全体	38.7	35.9	25.4	100.0
生徒	34.3	38.0	27.6	100.0
保護者	46.0	32.3	21.8	100.0

(注) 保護者は、子どもの性別として回答

### 4 部活・同好会別（生徒、保護者）

(単位：%)

	運動系	文化系	無所属	無回答	合計
全体	44.4	40.9	7.7	7.0	100.0
生徒	42.1	40.4	7.9	9.7	100.0
保護者	48.3	41.8	7.5	2.5	100.0

(注) 保護者は、子どもの部活・同好会として回答

### Ⅲ 調査結果

#### 1 現在の昼食のとり方について

##### (1) 全体

回答者全体の92.4%が弁当を持参している。このうち、生徒は94.4%、教職員は55.6%である。

(単位：人、%)

		合計	手作り弁当を持参	昼食はとらない	購買でパンを購入	コンビニ等でパンを購入	コンビニ等で弁当を購入	コンビニ等でおにぎりを購入	宅配弁当を注文	その他	無回答
全体		709	92.4	2.5	2.1	1.7	0.4	0.1	0.1	0.3	0.3
属性	生徒	673	94.4	0.7	2.2	1.5	0.4	0.1	0.0	0.3	0.3
	教職員	36	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	36.1	2.8	0.0

##### (2) 生徒

生徒673名のうち、「手作り弁当を持参」について、性別では、男性(94.6%)が女性(94.0%)を0.6ポイント上回った。学年別では、1年生(97.4%)が、3年生(93.5%)と2年生(92.2%)を上回った。部活・同好会別では、運動系(96.5%)が最も高く、文科系(93.4%)も9割を超えた。無所属(86.8%)は唯一9割を下回っており、「昼食をとらない」(3.8%)が他グループよりも割合が高い。

つまり、男性で運動系の部活・同好会に所属している生徒の弁当持参率が高い。

(単位：人、%)

		合計	手作り弁当を持参	購買でパンを購入	コンビニ等でパンを購入	昼食はとらない	コンビニ等で弁当を購入	その他	コンビニ等でおにぎりを購入	無回答
全体		673	94.4	2.2	1.5	0.7	0.4	0.3	0.1	0.3
性別	男性	349	94.6	1.4	1.4	0.9	0.6	0.3	0.3	0.6
	女性	318	94.0	3.1	1.6	0.6	0.3	0.3	0.0	0.0
※ 無回答6										
学年	1年	231	97.4	1.7	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0
	2年	256	92.2	3.1	3.1	0.8	0.0	0.0	0.4	0.4
	3年	186	93.5	1.6	1.1	1.6	1.1	0.5	0.0	0.5
部活・同好会	運動系	283	96.5	1.8	0.4	0.4	0.7	0.4	0.0	0.0
	文化系	272	93.4	1.8	2.9	0.7	0.0	0.4	0.4	0.4
	無所属	53	86.8	5.7	0.0	3.8	1.9	0.0	0.0	1.9

※ 無回答65

### (3) 教職員

教職員では、「手作り弁当を持参」(55.6%)が半数を超え最も高く、次いで、「宅配弁当を注文」(36.1%)が続いた。「その他」は、コンビニでカップラーメンを購入するとの記入であった。

性別にみると、「宅配弁当を注文」は、女性(44.4%)が男性(33.3%)を11.1ポイント上回っている。

(単位：人、%)

		合計	手作り弁当を持参	宅配弁当を注文	コンビニ等でおにぎりを購入	その他
全体		36	55.6	36.1	5.6	2.8
性別	男性	27	55.6	33.3	7.4	3.7
	女性	9	55.6	44.4	0.0	0.0

## 2 学食が必要かどうか

### (1) 全体

「やや必要である」(50.9%)という割合が最も高く、次いで「とても必要である」(27.4%)となった。これらを合わせた78.4%が、学食が必要であると考えている。

属性別では、「とても必要である」は、保護者(28.3%)と生徒(27.3%)が2割を超え、教職員(19.4%)よりも割合が高くなった。「やや必要である」は、教職員(58.35%)と保護者(54.3%)が5割を超えた。

「とても必要である」と「やや必要である」を合わせた「必要である」という割合は、保護者(82.5%)が8割を超え最も高く、より学食を必要としていることが分かる。

(単位：人、%)

	合計	必要である			どちらでもない	必要ではない			無回答	
		とても必要である	やや必要である			あまり必要ではない	必要ではない			
全体	1,109	78.4	27.4	50.9	14.5	7.0	4.1	2.9	0.1	
属性	生徒	673	75.9	27.3	48.6	16.0	8.0	4.5	3.6	0.0
	教職員	36	77.8	19.4	58.3	13.9	5.6	0.0	5.6	2.8
	保護者	400	82.5	28.3	54.3	12.0	5.5	4.0	1.5	0.0

## (2) 生徒

生徒のうち、性別にみると、男性の方が「必要である」とする割合（76.8%）が女性（74.5%）を2.3ポイント上回っており、特に「とても必要である」（33.2%）は女性（20.4%）と比べて12.8ポイント高い。一方で、「必要ではない」も、男性（8.6%）が女性（7.5%）を1.1ポイント上回った。

学年別では、1年生（81.8%）が最も高く、学年が上がるにつれて割合は低下した。3年生は、「必要ではない」（14.5%）が唯一1割を超えた。

部活・同好会別では、運動系（76.0%）と文化系（75.0%）が7割を超え、無所属（66.0%）を上回った。このうち、運動系は「とても必要である」（31.4%）が3割を超え、他グループを上回っている。

昼食のとり方別にみると、手作り弁当を持参している生徒は、「必要である」を選択した割合が75.4%となり、内訳では、「やや必要である」（49.1%）が「とても必要である」（26.3%）を20ポイント以上上回っている。

（単位：人、%）

	合計	必要である		どちらでもない	必要ではない	必要ではない		
		とても必要である	やや必要である			あまり必要ではない	必要ではない	
全体	673	75.9	27.3	48.6	16.0	8.0	4.5	3.6

性別	男性	349	76.8	33.2	43.6	14.6	8.6	4.6	4.0
	女性	318	74.5	20.4	54.1	17.9	7.5	4.4	3.1

※ 無回答6

学年	1年	231	81.8	30.7	51.1	13.9	4.3	2.6	1.7
	2年	256	75.4	30.9	44.5	18.0	6.6	3.1	3.5
3年	186	69.4	18.3	51.1	16.1	14.5	8.6	5.9	

部活・同好会	運動系	283	76.0	31.4	44.5	15.5	8.5	5.3	3.2
	文化系	272	75.0	20.2	54.8	18.0	7.0	3.7	3.3
	無所属	53	66.0	28.3	37.7	17.0	17.0	7.5	9.4

※ 無回答65

昼食のとり方別	手作り弁当を持参	635	75.4	26.3	49.1	16.4	8.2	4.6	3.6
	コンビニ等で弁当を購入	3	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0
	コンビニ等でパンを購入	10	90.0	50.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	コンビニ等でおにぎりを購入	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	購買でパンを購入	15	93.3	53.3	40.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	昼食はとらない	5	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0
	その他	2	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 無回答2

### (3) 教職員

教職員では、性別を問わず、「必要である」が77.8%となったが、女性は全回答者が「やや必要である」を選択し、「とても必要である」を選択した回答者がいなかった。

昼食のとりかた別にみると、「必要である」は、手作り弁当を持参している教職員(80.0%)が宅配弁当を注文している教職員(69.2%)を上回った。

(単位：人、%)

	合計	必要である		どちらでもない	必要ではない		無回答			
		とても必要である	やや必要である		あまり必要ではない	必要ではない				
全体	36	77.8	19.4	58.3	13.9	5.6	0.0	5.6	2.8	
性別	男性	27	77.8	25.9	51.9	14.8	7.4	0.0	7.4	0.0
	女性	9	77.8	0.0	77.8	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
昼食のとり方別	手作り弁当を持参	20	80.0	20.0	60.0	15.0	5.0	0.0	5.0	0.0
	コンビニ等でおにぎりを購入	2	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宅配弁当を注文	13	69.2	7.7	61.5	15.4	7.7	0.0	7.7	7.7
	その他	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### (4) 保護者

性別にみると、男性の生徒を持つ保護者は、「必要である」(84.3%)が女性生徒の保護者(81.1%)を3.2ポイント上回り、特に、「とても必要である」(30.5%)は女性(26.4%)を4.1ポイント上回った。

学年別では、「必要である」は、1年生の保護者(84.8%)が最高で学年が上がるにつれて割合は低下し、3年生(75.9%)は8割を下回った。

部活・同好会別では、運動系に所属する生徒の保護者では「必要である」が84.5%で、他グループを上回った。文科系の保護者は、「とても必要である」(19.2%)が、無所属(36.7%)と運動系(34.2%)の約半分となった。無所属の保護者では、「必要ではない」(16.7%)が他グループの2倍以上となり唯一二ケタ台となった。

(単位:人、%)

		合計	必要である	とても必要である	やや必要である	どちらでもない	必要ではない	あまり必要ではない	必要ではない
全体		400	82.5	28.3	54.3	12.0	5.5	4.0	1.5
性別	男性	197	84.3	30.5	53.8	11.2	4.6	3.6	1.0
	女性	201	81.1	26.4	54.7	12.4	6.5	4.5	2.0
※ 無回答2									
学年	1年	184	84.8	30.4	54.3	11.4	3.8	2.7	1.1
	2年	129	83.7	31.8	51.9	11.6	4.7	3.9	0.8
	3年	87	75.9	18.4	57.5	13.8	10.3	6.9	3.4
部活・同好会	運動系	193	84.5	34.2	50.3	13.5	2.1	2.1	0.0
	文化系	167	80.8	19.2	61.7	11.4	7.8	5.4	2.4
	無所属	30	73.3	36.7	36.7	10.0	16.7	10.0	6.7

※ 無回答10



※ 3以降は「2 学食が必要かどうか」という設問で「1 とても必要である」「2 やや必要である」と回答した 869 人のみが回答

### 3 1週間にどの程度の頻度で利用するか

#### (1) 全体

学食が「必要である」と回答した 869 名のうち、「週 1、2 回」を選択した割合が 46.4% で最も高い。

属性別にみると、生徒では、割合が高い順に、「週 1、2 回」(42.1%)、「月 2、3 回」(19.2%) となった。一方、教職員と保護者では、「週 1、2 回」が最も高いものの、次いで「週 3、4 回」となっている。教職員は、他グループに比べて、希望する利用頻度が比較的高い傾向がある。また、「週 5 回」と「わからない」がともに 10.7% と、二ケタ台となった。保護者は、「週 1、2 回」(53.0%) が唯一 5 割を超えた。

(単位：人、%)

	合計	週 5 回	週 3、4 回	週 1、2 回	月 2、3 回	月 1 回	年 2、3 回	わからない	その他	
全体	869	7.5	16.2	46.4	16.7	4.3	0.9	6.4	1.6	
属性	生徒	511	8.0	15.1	42.1	19.2	5.3	1.2	8.0	1.2
	教職員	28	10.7	28.6	46.4	3.6	0.0	0.0	10.7	0.0
	保護者	330	6.4	17.0	53.0	13.9	3.0	0.6	3.6	2.4

## (2) 生徒

男性の方が、希望利用頻度が高い傾向があり、「週3、4回」(21.6%)と「週5回」(12.3%)がともに二ケタ台となった。一方、女性は「月2、3回」が26.6%と、男性(13.1%)の約2倍である。

学年別では、学年が上がるにつれて「週5回」と「月2、3回」の割合が上昇した反面、「週1、2回」のは低下した。

部活・同好会別にみると、運動系は「わからない」(10.7%)が唯一1割を超えた。文科系では、「月2、3回」が26.0%で、他グループを10ポイント以上上回っている。無所属は、他グループと比べて、希望利用頻度が高い傾向がみられる。

昼食のとり方別では、購買やコンビニで購入している生徒の方が、手作り弁当を持参している生徒よりも、希望利用頻度が高い。

(単位：人、%)

	合計	週5回	週3、4回	週1、2回	月2、3回	月1回	年2、3回	わからない	その他
全体	511	8.0	15.1	42.1	19.2	5.3	1.2	8.0	1.2

性別	男性	268	12.3	21.6	39.2	13.1	3.4	1.5	7.5	1.5
	女性	237	2.5	8.0	44.7	26.6	7.6	0.8	8.9	0.8

※ 無回答6

学年	1年	189	6.3	14.8	47.6	16.9	5.8	1.6	5.8	1.1
	2年	193	8.8	14.5	42.5	17.6	6.7	0.5	8.3	1.0
	3年	129	9.3	16.3	33.3	24.8	2.3	1.6	10.9	1.6

部活・同好会	運動系	215	9.3	14.0	44.2	15.8	4.7	0.9	10.7	0.5
	文化系	204	4.4	14.2	38.7	26.0	6.9	1.0	6.4	2.5
	無所属	35	8.6	25.7	48.6	8.6	0.0	2.9	5.7	0.0

※ 無回答57

昼食のとり方別	手作り弁当を持参	479	7.7	14.0	42.6	19.8	5.4	0.6	8.6	1.3
	コンビニ等で弁当を購入	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	コンビニ等でパンを購入	9	11.1	33.3	33.3	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0
	コンビニ等でおにぎりを購入	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	購買でパンを購入	14	7.1	50.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	昼食はとらない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

※ 無回答2

### (3) 教職員

教職員では、「週1、2回」(46.4%)、「週3、4回」(28.6%)、「週5回」(10.7%)がいずれも二ケタ台となった。

性別では、男性の方が女性よりも希望利用頻度が高い傾向がある。

昼食のとり方別にみると、手作り弁当を持参している教職員(12.5%)と宅配弁当を注文している教職員(11.1%)で、ともに「わからない」という割合が高くなった。

(単位：人、%)

		合計	週5回	週3、4回	週1、2回	月2、3回	月1回	年2、3回	わからない
全体		28	10.7	28.6	46.4	3.6	0.0	0.0	10.7
性別	男性	21	14.3	38.1	38.1	4.8	0.0	0.0	4.8
	女性	7	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0	28.6
昼食のとり方別	手作り弁当を持参	16	6.3	25.0	50.0	6.3	0.0	0.0	12.5
	コンビニ等でおにぎりを購入	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宅配弁当を注文	9	0.0	33.3	55.6	0.0	0.0	0.0	11.1
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### (4) 保護者

保護者のうち、男性の生徒の保護者の方が女性よりも希望利用頻度が高い。

学年別では、他学年と比べて、1年生は「週3、4回」(19.2%)が、2年生は「週5回」(10.2%)が、3年生は「月2、3回」(21.2%)と「月1回」(4.5%)が、他学年を上回った。

部活・同好会別にみると、「無所属」で希望利用頻度が高い傾向がみられ、「週5回」と「週3、4回」がともに22.7%と他グループを上回っている。運動系と文科系は、「週1、2回」が各々53.4%、54.1%と、過半数となった。

(単位:人、%)

	合計	週5回	週3、4回	週1、2回	月2、3回	月1回	年2、3回	わからない	その他	無回答
全体	330	6.4	17.0	53.0	13.9	3.0	0.6	3.6	2.4	21.2

性別	男性	166	7.8	21.1	48.2	13.9	2.4	0.6	4.2	1.8	18.7
	女性	163	4.9	12.9	57.7	14.1	3.7	0.6	3.1	3.1	23.3

※ 無回答1

学年	1年	156	5.8	19.2	52.6	12.2	3.8	0.0	4.5	1.9	17.9
	2年	108	10.2	14.8	52.8	12.0	0.9	1.9	3.7	3.7	19.4
	3年	66	1.5	15.2	54.5	21.2	4.5	0.0	1.5	1.5	31.8

部活・同好会	運動系	163	4.9	20.2	53.4	14.1	2.5	0.6	3.1	1.2	18.4
	文化系	135	5.2	11.9	54.1	16.3	4.4	0.7	3.7	3.7	23.7
	無所属	22	22.7	22.7	45.5	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	36.4

※ 無回答10

#### 4 一度の利用で支払う適切な価格帯

##### (1) 全体

学食が必要であると回答した 869 名のうち、一度の利用で支払う適切な価格帯として、「300 円以上 400 円未満」(38.7%) と「400 円以上 500 円未満」(30.7%) が、ともに 3 割を超えた。

属性を問わず、「300 円以上 400 円未満」を選択した割合が最も高い。生徒と保護者では、「200 円以上 300 円未満」が二桁となり、教職員 (3.6%) を上回った。教職員では、「200 円未満」への回答がみられなかった。

(単位：人、%)

		合計	200円未満	200円以上300円未満	300円以上400円未満	400円以上500円未満	500円以上600円未満	600円以上700円未満	700円以上800円未満	わからない	無回答
全体		869	1.8	15.7	38.7	30.7	8.6	2.0	0.2	1.8	0.5
属性	生徒	511	2.5	17.2	34.4	29.9	8.8	2.9	0.4	2.9	0.8
	教職員	28	0.0	3.6	53.6	35.7	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0
	保護者	330	0.9	14.2	43.9	31.5	8.8	0.3	0.0	0.3	0.0

## (2) 生徒

男性では、「400 円以上 500 円未満」(32.8%)と「300 円以上 400 円未満」(32.5%)が、ともに3割台となった。「500 円以上 600 円未満」が 10.8%で女性(6.3%)を 4.5ポイント上回るなど、比較的価格帯が高い傾向がある。一方、女性は、「200 円以上 300 円未満」(20.7%)が男性(14.2%)を 6.5ポイント上回った。

学年別にみると、「200 円以上 300 円未満」は学年が低いほど割合が高くなった。

1年生は「500 円以上 600 円未満」が 10.6%で、唯一二ケタ台となった。2年生と3年生は、「300 円以上 400 円未満」と「400 円以上 500 円未満」がともに3割台となった。

部活・同好会別では、運動系と文化系は「300 円以上 400 円未満」が最も割合が高く、無所属は「400 円以上 500 円未満」が最も高くなった。

昼食のとり方別にみると、手作り弁当を購入している生徒でのみ「200 円未満」の選択があった。

(単位：人、%)

	合計	200円未満	200円以上300円未満	300円以上400円未満	400円以上500円未満	500円以上600円未満	600円以上700円未満	700円以上800円未満	わからない	無回答
全体	511	2.5	17.2	34.4	29.9	8.8	2.9	0.4	2.9	0.8

性別	男性	268	3.0	14.2	32.5	32.8	10.8	3.7	0.7	1.9	0.4
	女性	237	2.1	20.7	36.7	26.6	6.3	2.1	0.0	4.2	1.3

※ 無回答6

学年	1年	189	2.1	18.0	36.0	26.5	10.6	1.1	0.0	4.8	1.1
	2年	193	3.1	17.1	32.1	31.6	8.3	5.2	0.5	1.0	1.0
	3年	129	2.3	16.3	35.7	32.6	7.0	2.3	0.8	3.1	0.0

部活・同好会	運動系	215	1.4	18.6	32.1	31.2	9.3	3.3	0.5	3.7	0.0
	文化系	204	2.0	15.7	37.7	30.9	6.9	2.9	0.0	2.5	1.5
	無所属	35	5.7	20.0	25.7	37.1	8.6	0.0	0.0	0.0	2.9

無回答57

昼食のとり方別	手作り弁当を持参	479	2.5	17.7	34.2	29.9	8.8	2.5	0.4	3.1	33.4
	コンビニ等で弁当を購入	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	コンビニ等でパンを購入	9	0.0	11.1	44.4	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1
	コンビニ等でおにぎりを購入	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	購買でパンを購入	14	0.0	7.1	35.7	35.7	7.1	14.3	0.0	0.0	7.1
	昼食はとらない	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	150.0
	その他	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 無回答2

### (3) 教職員

教職員では、男女問わず「300円以上 400円未満」が5割を超えたが、女性（57.1%）の方が男性（52.4%）を4.7ポイント上回った。

昼食のとり方別にみると、手作り弁当を持参している回答者でのみ「200円以上 300円未満」を選択した回答者がみられる。宅配弁当を注文している回答者では、希望価格帯が比較的高い傾向がある。

(単位:人、%)

		合計	200円未満	200円以上300円未満	300円以上400円未満	400円以上500円未満	500円以上600円未満	600円以上700円未満	700円以上800円未満	わからない
全体		28	0.0	3.6	53.6	35.7	3.6	3.6	0.0	0.0
性別	男性	21	0.0	4.8	52.4	33.3	4.8	4.8	0.0	0.0
	女性	7	0.0	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
昼食のとり方別	手作り弁当を持参	16	0.0	6.3	62.5	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	コンビニ等でおにぎりを購入	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	宅配弁当を注文	9	0.0	0.0	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### (4) 保護者

性別で見ると、男性生徒の保護者では、「300円以上400円未満」(37.3%)と「400円以上500円未満」(35.5%)がともに3割台となった。女性は、「300円以上400円未満」(50.9%)が半数を超え、男性と比べて価格帯がやや低い。

学年別では、「300円以上400円未満」が1年生(48.7%)と2年生(41.7%)で4割を超え、3年生(36.4%)を上回った。1年生では、唯一、「200円未満」(1.3%)を選択した回答者がみられた。2年生は、「400円以上500円未満」(38.0%)と「500円以上600円未満」(12.0%)の割合が他学年を上回り、比較的の希望価格帯が高くなっている。

3年生では、「200円以上300円未満」(19.7%)が他学年を上回った。

(単位:人、%)

	合計	200円未満	200円以上300円未満	300円以上400円未満	400円以上500円未満	500円以上600円未満	600円以上700円未満	700円以上800円未満	わからない
全体	330	0.9	14.2	43.9	31.5	8.8	0.3	0.0	0.3

性別	男性	166	1.2	15.7	37.3	35.5	10.2	0.0	0.0	0.0
	女性	163	0.6	12.9	50.9	27.6	6.7	0.6	0.0	0.6

※ 無回答1

学年	1年	156	1.3	16.7	48.7	25.6	6.4	0.6	0.0	0.6
	2年	108	0.9	7.4	41.7	38.0	12.0	0.0	0.0	0.0
	3年	66	0.0	19.7	36.4	34.8	9.1	0.0	0.0	0.0

部活・同好会	運動系	163	0.0	17.8	42.3	30.7	9.2	0.0	0.0	0.0
	文化系	135	1.5	12.6	50.4	27.4	7.4	0.7	0.0	0.0
	無所属	22	0.0	0.0	36.4	59.1	4.5	0.0	0.0	0.0

※ 無回答10



※ 5は「2 学食が必要かどうか」という設問で「1 とても必要である」と「2 やや必要である」と回答した生徒と教職員 539 人のみが回答

## 5 希望するメニュー（3項目複数回答）

### （1）全体

全体では、「ラーメン」（55.1%）が5割を超え最も割合が高く、次いで、「カレー」（44.9%）と「定食」（43.0%）が4割となった。「うどん」（39.5%）も4割近く、割合が高い。

属性別にみると、生徒は全体の傾向と似ており、割合が高い順に、「ラーメン」（53.8%）、「カレー」（44.9%）、「定食」（43.4%）となった。一方、教職員では、「ラーメン」（78.6%）、「カレー」（60.7%）に続いて、「どんぶり」（39.3%）の希望割合が高くなった。

(単位：人、%)

		合計	ラーメン	カレー	定食	うどん	どんぶり	そば	パスタ	サラダ	おにぎり	その他
全体		539	55.1	44.9	43.0	39.5	30.6	25.2	17.6	17.4	7.8	3.2
属性	生徒	511	53.8	44.0	43.4	39.9	30.1	25.0	18.4	18.0	7.8	3.1
	教職員	28	78.6	60.7	35.7	32.1	39.3	28.6	3.6	7.1	7.1	3.6

## (2) 生徒

生徒のうち、男性は、「ラーメン」(59.7%)が6割近くで、「カレー」(49.3%)と「定食」(47.8%)がともに4割となった。女性は、「ラーメン」(46.8%)と「うどん」(46.8%)が4割、「定食」(38.8%)と「カレー」(38.0%)が3割となった。

「ラーメン」について、男性(59.7%)が女性(46.8%)を12.9ポイント上回った。一方、女性は、「サラダ」と「パスタ」がともに26.2%となり、男性を、各々、15.7ポイント、15.0ポイント上回った。

部活・同好会別にみると、運動系では、「ラーメン」(53.0%)と「定食」(50.2%)で5割を超えた。文化系は、「おにぎり」(11.8%)が唯一二ケタ台となった。無所属では、「ラーメン」(57.1%)、「うどん」(48.6%)、「そば」(31.4%)、「パスタ」(20.0%)など麺類の割合が他グループを上回っている。

昼食のとり方別では、手作り弁当を持参している生徒は、全体と似た傾向が表れた。購買でパンを購入している生徒は、「サラダ」(35.7%)と「パスタ」(28.6%)の割合が、他グループよりも高い。

(単位：人、%)

	合計	ラーメン	カレー	定食	うどん	どんぶり	そば	パスタ	サラダ	おにぎり	その他
全体	511	53.8	44.0	43.4	39.9	30.1	25.0	18.4	18.0	7.8	3.1

性別	男性	268	59.7	49.3	47.8	35.4	35.8	28.4	11.2	10.4	5.6	2.2
	女性	237	46.8	38.0	38.8	45.1	24.1	21.1	26.2	26.2	10.5	4.2

※ 無回答6

学年	1年	189	49.2	43.9	44.4	42.9	29.6	27.5	19.6	16.9	7.9	3.7
	2年	193	57.5	45.6	45.6	38.3	28.5	22.3	18.7	20.2	8.8	2.1
	3年	129	55.0	41.9	38.8	38.0	33.3	25.6	16.3	16.3	6.2	3.9

部活・同好会	運動系	215	53.0	44.2	50.2	36.3	34.9	19.1	15.8	19.1	6.0	2.8
	文化系	204	53.9	43.6	37.7	44.1	25.5	28.9	18.6	17.2	11.8	2.9
	無所属	35	57.1	40.0	40.0	48.6	25.7	31.4	20.0	17.1	2.9	5.7

※ 無回答57

昼食のとり方別	手作り弁当を持参	479	55.3	44.1	43.6	40.7	29.2	25.1	18.6	18.0	8.1	2.5
	コンビニ等で弁当を購入	2	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	コンビニ等でパンを購入	9	33.3	44.4	44.4	33.3	33.3	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1
	コンビニ等でおにぎりを購入	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	購買でパンを購入	14	28.6	35.7	35.7	28.6	35.7	21.4	28.6	35.7	0.0	14.3
	昼食はとらない	2	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	2	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### (3) 教職員

教職員では、男女問わず、「ラーメン」への希望割合が最も高いが、次いで、男性では「カレー」が66.7%、女性では「カレー」、「うどん」、「そば」がいずれも42.9%となった。男性では、「どんぶり」(66.7%)が女性(42.9%)を23.8ポイント、「どんぶり」(47.6%)が女性(14.3%)を33.3ポイント上回った。一方、女性では、「うどん」と「そば」の割合が男性と比べて10ポイント以上高い。

昼食のとり方別にみると、手作り弁当を持参している回答者では、「ラーメン」(81.3%)の割合が高い。宅配弁当を注文している回答者では、「おにぎり」、「サラダ」、「パスタ」がいずれも11.1%で他グループを上回った。

(単位：人、%)

		合計	ラーメン	カレー	どんぶり	定食	うどん	そば	おにぎり	サラダ	パスタ	その他
全体		28	78.6	60.7	39.3	35.7	32.1	28.6	7.1	7.1	3.6	3.6
性別	男性	21	76.2	66.7	47.6	38.1	28.6	23.8	4.8	9.5	4.8	0.0
	女性	7	85.7	42.9	14.3	28.6	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3
昼食のとり方別	手作り弁当を持参	16	81.3	50.0	37.5	25.0	43.8	37.5	0.0	6.3	6.3	6.3
	コンビニ等でおにぎりを購入	2	50.0	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宅配弁当を注文	9	77.8	66.7	44.4	44.4	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0
	その他	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### (4) 価格帯

希望する価格帯別に、希望するメニューの割合をみると、「600円以上700円未満」を除く全価格帯で「ラーメン」が最も高くなった。「600円以上700円未満」では、「カレー」と「定食」がともに58.8%で他グループを上回っている。

価格帯が低いグループでは「ラーメン」に希望が集中し、600円を超える価格帯では「カレー」、「定食」、「どんぶり」など、ボリュームのあるご飯物への希望割合が高い。

(単位：人、%)

		合計	ラーメン	カレー	定食	うどん	どんぶり	そば	パスタ	サラダ	おにぎり	その他
全体		869	34.2	27.8	26.7	24.5	19.0	15.7	10.9	10.8	4.8	2.0
希望する 価格帯別	200円未満	16	50.0	31.3	12.5	31.3	25.0	18.8	18.8	18.8	0.0	12.5
	200円以上300円未満	136	33.1	28.7	27.9	30.1	21.3	14.0	9.6	14.7	5.9	2.9
	300円以上400円未満	336	29.8	25.9	22.0	23.8	16.1	17.9	9.8	9.8	4.2	1.5
	400円以上500円未満	267	37.5	27.7	31.5	21.0	20.6	13.1	11.2	7.9	5.2	1.9
	500円以上600円未満	75	40.0	26.7	24.0	25.3	18.7	17.3	12.0	8.0	5.3	0.0
	600円以上700円未満	17	29.4	58.8	58.8	29.4	41.2	11.8	17.6	29.4	0.0	0.0
	700円以上800円未満	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	16	43.8	25.0	25.0	43.8	6.3	25.0	25.0	31.3	12.5	6.3

※ 無回答4

## 6 自由記入欄

生徒、教職員、保護者 285 名から自由記入欄への記入をいただいた。各属性の回答数は下記のとおり。

### 分類一覧

属性	回答者数
生徒	165
教職員	20
保護者	100
合計	285

#### 1 生徒

		回答数
1	学食設立への期待	42
2	低価格設定への希望	21
3	メニューへの具体的な希望	26
4	研修会館の衛生状態改善やリフォーム希望	16
5	食堂スペースの拡大、席の確保への希望	14
6	親や自分の弁当作成による負担軽減への期待	14
7	衛生管理への配慮、清潔の確保への希望	11
8	混雑しないことへの配慮希望	11
9	メニューの栄養バランスへの配慮希望	7
10	平等な利用への配慮希望	6
11	軽音楽同好会への練習への支障発生懸念	5
12	休み時間が足りなくなる可能性への懸念	4
13	営業再開反対	4
14	夜間営業への希望	3
15	新たなコミュニケーションの場誕生への期待	3
16	営業再開による購買への影響懸念	2
17	営業再開に伴う食品ロス発生への懸念	2
18	その他	3

以下はご意見・ご要望のうち一部の抜粋

#### 1 学食設立への期待

- ・私は祖母に弁当を作ってもらっていますが、祖母の体調を考えると3年間弁当で通すのは難しいです。学食、待っています。
- ・毎日弁当を作っている親御さんが休める日があればいいと思うし、昼は購買で買ったパンしか食べずに生活している人もいて、そういう人には少しでも栄養のあるものを食べてほしいなど学食が復活してほしい理由は多くある。そして僕自身「学食で食べる」という経験をしてみたい。
- ・私は普段弁当を持ってきているが、安価で栄養のあるメニューがあれば週に一度は利用したい。理由は弁当を作るのが負担である。料金の問題で毎日利用できないだろうが、学生食堂の復活を期待する。
- ・運動部なので朝6時から朝練をしたいが、弁当の準備が親の負担になっている。学食が再開できれば時間にも間に合うし負担をかけずに済むのでとてもありがたい。
- ・今、3年生なので、卒業前に再開してほしい。

#### 2 低価格設定への希望

- ・コンビニより安くないと売れない。
- ・ワンコイン以内の価格設定にしてほしい。
- ・安くてボリュームがあっておいしいものが食べたい。

#### 3 メニューへの具体的な希望

- ・スープやみそ汁など温かいものが食べたいし、特に冬はそう感じる（7名）。
- ・夏（アイス、つけ麺）や冬（味噌汁、スープ）など季節に合う限定メニューがほしい。
- ・コンビニで「製造された」おにぎりではなく、手作りのおにぎりが食べたい。
- ・価格が多少高くなっても、安心できる原材料を使用した食事が食べたい。

#### 4 研修会館の衛生状態改善やリフォーム希望

- ・先日研修会館を掃除したら数多くの蜘蛛の巣、大きな虫、虫の死骸があり掃除しきれない箇所もあった。駐車場側のストーブの裏、窓枠、カビた椅子等。加えて食堂の匂いもひどい。部屋をキレイにしてもらったら私は学食を頻繁に利用したい。
- ・現在の状態の研修会館で行うのか。よくキッチンに虫が入ってきているので不安。

#### 5 食堂スペースの拡大、席の確保への希望

- ・席が空いてなくて食べられないことがないように、十分に席を確保してほしい。

## 6 親や自分の弁当作成による負担軽減への期待

- ・運動部でたくさん食べる人とか宿舎暮らしの人とか弁当を持ってるのが大変だから、食堂があると便利だと思う。また、母親も助かると思う。
- ・下宿生なので毎日お弁当箱を洗うのが大変。その時間がもったいない。
- ・学食が再開したら、親の負担が減り、仲間との交流も増えると思うのでよい。
- ・遠方から通学し購買でしか昼食を買えない生徒、部活で夜遅くまで残る生徒などを考えると、運営する意義は大いにある。難しいかもしれないが夜間の運営があるとよい。

## 7 衛生管理への配慮、清潔の確保への希望

- ・常時清潔さを保ってほしい。
- ・異物混入や食中毒にならないように衛生管理を徹底してほしい。

## 8 混雑しないことへの配慮希望

- ・行列しないよう配慮してほしい。
- ・一年E~Gクラスは学食から遠い位置にあるので、昼食を食べる時間ができるだけ長くとれるよう、生徒の出入りがスムーズだと嬉しい。

## 9 メニューの栄養バランスへの配慮希望

- ・栄養バランスのとれた定食などがあると、コンビニで食べ物を買うよりずっとよい。
- ・毎日お弁当を用意するのは母親も大変だし、コンビニはお金がかかりすぎるから学食を作ってほしい。栄養バランスがとれているものを希望する。

## 10 平等な利用への配慮希望

- ・学食に長い列ができ、3年生優先のものになってしまうのではないか。
- ・生徒が快適に利用できるようなルールを明文化してほしい。

## 11 軽音楽同好会への練習への支障発生懸念

- ・運動会期間のチア、軽音の練習、大人気の陸上部の秋高祭での喫茶運営、不都合が多分に生じるので再開設には反対。
- ・現在、食堂を軽音の練習場所として使っており、楽器などが置いてあっても大丈夫な環境がいい。

## 12 休み時間が足りなくなることへの懸念

- ・移動と待ち時間を考えると、今の昼休み時間では足りない気がする。

## 13 営業再開反対

- ・学食が復活しても部活動等の合宿は今までのように行えるのか。今現在お弁当と購買で成り立っているのであれば、学食の必要性は低いのでは。
- ・今現在の形で対応できているので、一度終了した学食を復活させる必要性を感じない。
- ・現在も閉館時の状況とさほど変わらず、一層、食堂の逆風となる傾向が強まっている。最初は物珍しさで人が多くなるのかもしれないが、いずれまた利用者はなくなる。無駄なことにお金を使うべきではない。
- ・昼休み時間に用事がある人も多いので長続きするだろうか、いやしない。

#### 14 夜間営業への希望

- ・部活帰りに軽く食べたいので営業時間を7時までにしてほしい。
- ・夜遅くまで残ることがあるので、腹持ちのいいものや、おにぎりがあつたらそのまま持っていたい。

#### 15 新たなコミュニケーションの場誕生への期待

- ・学食が生徒交流のよい場になると思う。他クラスの状況などを知ることができ、これは学力の向上に繋がることがあるかもしれない(クラスによる偏りが減る)。
- ・勉強と部活で忙しく友達と過ごす時間が少ないので、友達と一緒に食べられたらうれしい。

#### 16 営業再開に伴う購買への影響懸念

- ・購買との兼ね合いを考えた学生食堂を期待している。
- ・購買の方がパンとか安いのでバトルになりそう。

#### 17 営業再開に伴う食品ロス発生への懸念

- ・本格稼働後、人がこなくなってもできるだけ食品ロスがないようにしてほしい。

#### 18 その他

- ・合宿中においしい温かいご飯が食べたい。食事は合宿中楽しみにするものだし、エネルギー源になるの、でもし学食ができたらうれしい！！
- ・ポイントカードがあればいいと思う
- ・受け取りに時間がかかるので引換券を作るといいかもしれない。昼休みに集まっている運動部に出前してもいいし、売れ残りなら放課後販売すれば買いにくるかも。



## 2 教職員

		回答数
1	需要喚起策の提案	21
2	営業再開反対	1
3	その他	2

以下はご意見・ご要望のうち一部の抜粋

### 1 需要喚起策

- ・校内の合宿の際に食事の注文をお願いする。
- ・日替わりメニューづくりに生徒が関わる（クッキング同好会など）。
- ・混雑をどう解消するのかの工夫が必要。
- ・上級生しか利用できない雰囲気を出さない工夫が必要。
- ・埼玉の大宮高校（私立）は部活動の生徒が栄養補給および体づくりのため夕方も食堂を利用していた。また、秋田工業で大人気のメニューがカツ弁。ごはんの上にチキンカツのみ、自分でパック入りのソースをかけて食べるスタイルなので、どこへでも持って行って食べられる。これらが参考になると思う。
- ・土日に外部に宣伝しながら営業できるくらいの食堂にする。
- ・自販機の売り上げが大きいので食堂内に設置するようにする。
- ・メニューに「秋高カレー」など命名しオリジナリティを出す。
- ・フェアを開催し同窓生が携わっているものに触れる機会を設ける（榮太樓フェアは定食に榮太樓のお菓子をつける。ロシアフェアはロシア駐在OBによるロシア料理提供など）。
- ・スタートは厳しくともロコミで徐々に利用者数が増加するのでは。味と値段で納得してもらうこと、広報の仕方次第で再開のメリットを広く知らせることができると思う。

### 2 営業再開反対

- ・閉鎖から何年も経過しているが不便さは感じていない。また、利用者がコミュニケーションを図り秋高への愛着を高める場とする必要性もないのでは。

### 3 その他

- ・学食設置や維持のために教員の業務が増えるようなことにはしないほしい。
- ・メディアを使った宣伝等の工夫も考えられるが、校内への出入りのルールなどハードルが高くボランティア営業しかないと思う。
- ・採算が取れないのは眼に見えているが、それでも再開に向けての動きがあることに感謝している。

### 3 保護者

		回答数
1	季節に応じた食事の提供への期待	37
2	弁当を用意できない時の利用希望	22
3	メニューの栄養バランスへの配慮希望	12
4	営業再開に伴う支障発生懸念について	10
5	平等な利用への配慮希望	7
6	低価格設定への希望	5
7	その他	12

以下はご意見・ご要望のうち一部の抜粋

#### 1 季節に応じた食事の提供への期待

- ・夏のお弁当の食中毒の心配もなく、寒い日は温かいものを食べることができ、とても良いと思う。
- ・汽車通でお弁当を作ってから食べるまで7時間ほどの時間があるので、特に夏場は食中毒が心配である。保冷の策を講じても冷たいご飯がどれくらいおいしいかと。冬場の温かいメニュー、運動部員の持参弁当にプラスする汁物や麺類、夏でも安心して美味しく食べられるバランスのよい食事、そこで生まれるコミュニケーション。秋高生の心身の健康のため（弁当作り担当の家族の負担軽減のためにも）ぜひ再開をお願いしたい。

#### 2 メニューの栄養バランスへの配慮希望

- ・弁当が傷む心配をすることなく、できたての栄養豊富な食事をとらせることができたらとても嬉しくありがたい。
- ・冬温かいもの、夏傷まないもの、偏った弁当ではないものを食べさせたい。
- ・スープや豚汁など汁物だけでも用意してほしい（おにぎりを持っていけば十分なので）。
- ・おにぎりや惣菜パン、お湯を入れるだけの味噌汁など捕食としてサッと食べられるものが手作りで出されると魅力的である。

#### 3 弁当を用意できない時の利用希望

- ・共働きで夜勤や帰りが遅くなることもあり、食堂があると本当に助かる。
- ・毎朝のお弁当作りから週に数回だけでも解放されたい。
- ・お弁当を作るのが大変な時、学食があると安心する。
- ・電車通学のため、親は弁当を作る時間を削減でき、ありがたい。

- ・昼食を持参できない時の安心感。

#### 4 平等な利用への配慮希望

- ・上級生だけが利用できるのではなく、皆が平等に利用できるようにしてほしい。
- ・保護者は学食があると気持ちが高な部分があるが、女の子は利用に気後れするだろうと思う。おおまかに、学年で利用できるスペース、または男女で使いわけられるスペースがあれば利用しやすいのでは。

#### 5 低価格設定への希望

- ・500円以上だと親の懐が辛い。
- ・安くておいしく適度な量があることを期待する。

#### 6 営業再開に伴う支障発生懸念について

- ・昼休み内に食べ追わることができるのか、5時間目に遅れたりしないかが心配。
- ・スペース、回転率が不安。
- ・たまり場になる恐れがある。
- ・そもそも閉鎖になっているので、再開したところでしっかり継続できるのかどうか。
- ・様々な経緯で閉鎖になっていると思うので、それを押しても必要とは思えない。

#### 7 その他

- ・私自身学食で楽しいひと時を過ごした記憶がある。親の弁当作りの負担軽減といわれればそれまでだが、子どものコミュニティーの場の一つとして、考えて食べることの経験としてもぜひ復活してほしい（遠方から来る子どもさんたちにもいいかと）。
- ・先輩に気遣うこともあり、同学年の仲間と工夫して学食を利用することも、今後社会人になった時に役立つことを身に付けられると思う。私自身、学食は当時のよい思い出である。
- ・今は弁当業者も多い。親は「弁当作りの手間から解放される」という点では、注文すれば確実に入手できるサービスも利用したい。
- ・学食が有ったら助かっただろうなという状況はあったが、日常的に必要なかというところでもなかったように思う。
- ・地産地消が理想、冷凍食品はなるべく使わないでほしい。
- ・部活生徒会で遅くなる場合も多いので夜の営業も望む。